

視察（研修）報告書

令和 5年 1月27日

府中市議会議長 様

会派名又は 創生会

議員名 真田 光夫

日 時	令和 5年 1月23日（月） から 令和 5年 1月24日（火）
研 修 先	全国市町村国際文化研修所（JIAM） オンライン受講
研 修 コ ー ス	令和4年度 第3回市町村議会議員特別セミナー（2日間コース）
研 修 タ イ ト ル	令和4年度 第3回市町村議会議員特別セミナー
参 加 者	創生会1名（真田）
研 修 内 容	<p>1日目 「ベーシックサービス宣言」～分かち合いが変える日本社会～ 講師：慶應義塾大学 経済学部 井出英策氏</p> <p>一見すると、日本は手厚い社会保障があり豊かな国と思われているが、実際は、世帯収入400万円以下が45%も占めており、2人以上世帯の3割と単身世帯の5割が貯蓄なし、一人あたりGDPは世界4位から26位に落ちている。実際は貧しいが、貧しいと言わずに、病院や大学に行けない人、介護サービスを受け入れない人がとても多いのが現実である。</p> <p>この課題解決に、最終的10数年をかけて消費税を16%に引き上げ、例えば、年収100万円の人には大学費用100万円を渡し、実質0円とするような社会にし、分かち合える社会を目指すことが良いとしているのが「ベーシックサービス」です。</p> <p>-----</p> <p>「一人ひとりの個性を尊重する「あおいけあ流」の介護の世界」 講師：あおいけあ代表 加藤忠相氏</p> <p>我が国の75歳以上人口割合は、10人の1人の割合であるが、2030年には5人に1人となり2055年には4人に1人となると推計されている。そこで、高齢者とどう向き合うかが問われている。</p> <p>介護保険法 第2条 第2項 前項の保険給付は、<u>要介護状態等の軽減または、悪化の防止</u>に資するよう行われるとともに、医療との連携に十分配慮して行われなくてはならない。</p> <p>上記下線を「おたがいさんケア」と名付け、「自立支援を促す」ためにアパートをリノベーションしてお年寄りに提供しているのが、「あおいけあ」であり、とても多くの元気なお年寄りが楽しく生活をしている。 （※例えば出来る人は、神社の掃除やお客様にお茶をだしたり、お食事を作ったり、洗濯物を畳んだりと普通の生活を行っている。）</p>

2 日目

「ヤングケアラーの現状と必要な支援」

講師：日本女子大学名誉教授 堀越栄子氏

ヤングケアラーとは、家庭にケアする人（障がいをもつ家族や高齢者、薬物やギャンブル問題などを抱える家族）がいるために、家事や家庭の世話、介護等のサポートを行っている 18 歳未満の子ども。

その数は、小学 6 年で 15 人に 1 人、中学 2 年で 18 人に 1 人、高校 2 年で 24 人に 1 人、大学 3 年で 16 人に 1 人という調査がある。

ヤングケアラーは、家族のケアに時間を取られるために、遅刻や欠席、忘れ物が増え、学力が低下し、友だちとのコミュニケーションも取れなくなり、孤独を感じ、ストレスを抱えている。

「子どもの権利」が侵害されている可能性がある

- 健康に生きる権利
- 教育を受ける権利
- 子どもらしく過ごせる権利

(参考)

ケアラーを支援する法律や条例がある自治体

2020.03 埼玉県ケアラー支援条例

2021.03 北海道栗山町

2021.06 三重県名張市

2021.09 岡山県総社市

2021.12 茨城県、北海道浦河町、岡山県備前市

2022.03 栃木県那須町、北海道

2022.06 埼玉県入間市、さいたま市

2022.09 福島県白河市

2022.10 長崎市

2022.12 鳥取県

「ひきこもり本人や家族が必要とする支援と地域の役割」

講師：ジャーナリスト 池上正樹氏

全国推定 115 万人（40～64 歳 61.3 万人、15～39 歳 54.1 万人）

ひきこもりのきっかけ

社会的要因：退職や人間関係等

病氣的要因

：精神疾患、発達障害等

多様性要因：いじめ、パワハラ、DV、貧困、虐待、多重債務等

ひきこもりが求めているもの（複数回答）

アルバイトや働き場の紹介・短時間でも働ける職場：39%

専門機関への相談、生活費の相談、仲間友達づくり：46%

何も必要ない・今のままで良い：34%

本人の 6 割以上、家族の半数近くが今まで相談したことがなく、誰に相談したらよいのか、受け皿がどこなのかも分からないのが実情である。家庭内のひきこもりは、「家の恥」だと思っている家庭が多い。

	<p>課題解決最初の一步は、家族支援（家族会）を開催することが大切。 ハイブリッド型居場所、メタバース等（江戸川区、京都市、神戸市）</p>
<p>所 感</p>	<p>「ベーシックサービス宣言」の考え方は、とても良いと思いますが、国民の賛否を問わなくてはならないと思います。</p> <p>課題①：消費税を増税することへの反発。 課題②：社会保障内容で、何を無償化にするのかを決める方法。 課題③：持続可能な財源をどうする。 課題④：困る人（落ちこぼれる人）は、本当に居なくなる。 課題⑤：どんなメンバー招集し、どのような会議を行うのか。 以上の課題を克服すれば、良い社会保障になると思います。</p> <p>高齢者関連の話は、自分事になりつつあります。 今から40年前、昔の高齢者（65歳以上）の事を思えば、今の高齢者は、とても若く元気で明るい方が多い。医療技術・衛生環境の進化・住環境や食生活の環境等が良くなったことが理由なのでしょう。</p> <p>しかし人間は、いつかは亡くなるのである。 どれ程の時間を生きたかも重要であるが、どのように生きたかも重要で だと思えます。</p> <p>わかっていることは、過去の先人達のご努力によって、今の社会がある という事実です。私たちはこの平和な今を続けることと、高齢者の方が 安心していきいきと過ごしていただけるような世の中を作ることが、私 たち世代の役目だと思いますので、お年寄りに寄り添ってお話を聞き、 自立支援を促す仕組みについて考えたいと思いました。</p> <p>ヤングケアラーの問題は、「子どもの3つの権利」を侵害されていること です。この任期期間中に現状の把握と課題解決のために何が必要で各団 体の意見や考えなどを聞きに伺いたいと思います。 （※ベスト：ケアラー条例等。ベター：憩いの場所や相談窓口等）</p> <p>併せて、ひきこもりの問題も同じく、この任期期間中に現状の把握と課 題解決のために何が必要か、家族会を開くことができないか等を各団体 にリサーチしたいと思いました。 （※ベスト：常設の無料相談センターや就活センター・バーチャルメタ バース等、ベター：定期・不定期の家族会等）</p>